

2009年2月5日

～ 国土交通省推進「住宅・建築物 省CO2推進モデル事業」に採択 ～  
涼温房設計とWソーラーでCO2排出量を65%削減する  
「MyForest-Solabo(マイフォレストソラボ)＜省CO2推進モデル仕様＞」を  
限定発売

住友林業株式会社（社長：矢野龍 本社：東京都千代田区丸の内1丁目8番1号）は、国土交通省が平成20年8月1日から9月12日の期間に公募した平成20年度（第2回）「住宅・建築物 省CO2推進モデル事業」に、「国産材木造住宅による太陽エネルギーのパッシブ+アクティブ利用住宅～住人同士の省CO2住まいのアイデア共有～」を提案し、当提案が住宅・建築物の新築部門において、当モデル事業の先導的なプロジェクトとして採択されました。

これを受け、当モデル事業に採択された提案を採用し「MyForest-Solabo＜省CO2推進モデル仕様＞」として、平成21年2月6日より棟数を限定して発売しますので、お知らせします。

- ・ 商品名 MyForest-Solabo（マイフォレスト-ソラボ）＜省CO2推進モデル仕様＞
- ・ 発売日 平成21年2月6日
- ・ 販売エリア 全国（北海道、沖縄、多雪地域を除く）
- ・ 価格 3.3平方メートルあたり62万円台より(税込)
- ・ 構造 MB（マルチバランス）構法

#### 《商品の特長》

##### 1. CO2排出量を約65%削減

「住宅・建築物 省CO2推進モデル事業」の採択ポイント（以下の2～4）を盛り込む事で、CO2排出量を新省エネルギー基準の一般木造住宅に比べ約65%削減可能(※)としています。

※ 断熱地区区分IV地域（茨城県つくば市）に、新省エネルギー基準（住宅性能表示 等級3相当）で建設した木造住宅との比較。

##### 2. 主要構造材の70%に国産材を利用

主要構造材の70%に国産材を積極的に活用する事による、海外からの輸送に関するCO2排出量の削減、国内山林事業の活性化、山林整備につながる森林の活性化を図り、CO2吸収に寄与。

##### 3. 断熱性能をグレードアップしたパッシブ設計の“涼温房”

夏も冬も、太陽・風・緑といった自然の恵みを活かし冷暖房設備に頼りきらない住まいの設計手法を採用。

- 1) 断熱性能を次世代省エネルギー基準II地域仕様（東北から岐阜の山間部）にグレードアップ
- 2) 南面窓ガラスにLOW-E断熱クリア、トップライト（開閉タイプ）、リビング北側への窓設置などの開口部設計
- 3) 建物の南側に落葉樹、北側に常緑樹を配した植栽設計 など

##### 4. Wソーラーシステムを搭載したアクティブ設計

CO2排出量削減に実効性の高いダブルソーラーシステム（太陽熱利用給湯による優先的な太陽熱の利用、及び太陽光発電）によりエネルギー自給率を高め、太陽エネルギーを最大限に利用。

##### 5. 「省CO2」の顧客コミュニケーション専用サイト

専用の顧客WEBサイトにより、住まい手の「省CO2」の工夫を紹介。入居後、住まい手どうしのコミュニケーションを図り、必要に応じて当社からもアドバイスを行う。

##### 6. 「地震エネルギー吸収パネル」を標準搭載

国産木材を活用し地震エネルギー吸収効果を高めた耐力壁「地震エネルギー吸収パネル」を住友ゴムグループの

SRIハイブリッド社と共同で新しく開発、本商品（MB構法2階建）に標準搭載することで、更に安全で安心な「住友林業の家」を実現します。なお、「地震エネルギー吸収パネル」は高剛性・高減衰ゴムを使用したパネルで、壁倍率「5.0」の国土交通大臣認定（認定番号 FRM-0255）を日本で初めて取得しています。

「地震エネルギー吸収パネル」は、地震エネルギーを熱エネルギーに変換・放出する特殊な高剛性・高減衰ゴムの特性を生かしたパネルで、その主な特長は、次のとおりです。

- 1) 巨大地震時において建物変形量を最大で約70%低減する働きを有することで、柱・梁等の主要構造部材の損傷を抑制します。
- 2) 高剛性・高減衰ゴムの変形によるエネルギー吸収性能によって、「地震エネルギー吸収パネル」そのものの損傷を抑えることから、日常的に発生する中小地震だけでなく、巨大地震後に発生するケースが多い余震に対しても、地震エネルギーの吸収性能を発揮し続けます。

「地震エネルギー吸収パネル」は、シンプルな構造でありながら、メンテナンスフリーで長期にわたり地震発生による建物の損傷を最小限にとどめることが可能で、子や孫の世代へと安心して住み続けることができ、資産価値の高い住まいづくりに貢献します。

## 7. 全ての出入隅柱に「スーパーワイド檜」を標準搭載

建物に加わる水平荷重が集中する建物外周の出入隅のコーナー部分には、全てスーパーワイド檜を標準搭載しています。スーパーワイド檜とは当社オリジナルの148mm×105mmの断面をもつ集成材による扁平柱で、一般的に太くて強いとされる120mm×120mmの4寸柱よりも断面積で11.4cm<sup>2</sup>大きく、より構造の安定性を高めています。複雑な形状の建物であっても全てのコーナー部分に設置されるため、地震等の横揺れに強く、「地震エネルギー吸収パネル」との相乗効果により、より強固で安全で安心な住まいを実現しています。

### 《開発の背景》

家庭部門・業務部門のCO<sub>2</sub>排出量が増加傾向にある中、国土交通省は住宅・建築物における省CO<sub>2</sub>対策を強力に推進し、住宅・建築物の市場価値を高めるとともに、居住・生産環境の向上を図るため、省CO<sub>2</sub>の実現性に優れた先導的なモデルとなる住宅・建築プロジェクトを公募しました。今年度は2回の公募を実施し、新築戸建住宅部門では合計121件の応募に対し7件を採択しています。当社は「国産材利用木造住宅による太陽エネルギーのパッシブ+アクティブ利用住宅」を提案し、昨年11月にモデル事業として採択されました。

今回発売します「MyForest-Solabo<省CO<sub>2</sub>推進モデル仕様>」は、先ごろ耐久性、環境性能を向上する仕様に改定をおこない発表しました「MyForest [GS]」に、当モデル事業に採択された提案を採り入れ商品化。パッシブからアクティブまでの技術を盛り込んだ、次世代の省エネルギー性の高い「住友林業の家」となっています。



MyForest-Solabo<省CO<sub>2</sub>推進モデル仕様> 外観イメージ

以上

《本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。》

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション室 佐野・野澤

TEL：03-3214-2270

FAX：03-3214-2272

《お客様からの商品に関するお問い合わせ先》

住友林業株式会社

住宅事業本部 営業企画部

フリーダイヤル：0120-21-7555